

【登場人物】

会社員

高校生

真夜中の屋上

会社員、腕を抑えながら慌てて上手から出てくる

会社員「いやあああああああ。うそ、うそうそうそうそ…」

会社員「痛い…腕、切られた…殺される、あたし殺されるの…?」

会社員「は、早く、警察、警察よばなきゃ、早く」

会社員、カバンを漁る

会社員「…あれ? うそっ…どつかに落とした…? コンビニから出た時は手に持ってた。それで、その後刺されて、会社へ逃げ

込んで…それで…」

会社員「…っ、何で私なのよ!?!? 何で!?!?」

高校生、片手にファンディファン、もう片方の手に包丁を持って上手から現れる

高校生「は〜疲れた。やっと追いついたよ、おばさん」

高校生「ヒールなのに階段登るの早いんだね、生存本能ってやつ?」

会社員「あ、んた…」

高校生「あつ、良かったまだ死んでなくて。そこから飛び降りてもう居ないかと思ったよ」

会社員「いきなり何なのよ、急に後ろから襲ってきて…」

高校生「え、なに、まだ抵抗するの」

会社員「黙って!」

高校生「あんまり叫ばない方が良いよ。傷口が開いて、痛いでしょ?」

会社員「…まさか、女子高校生だったのね」

高校生「なんだ、私の事知ってるんだ」

会社員「ここの一週間、この地域で2人も殺されているのよ! 知らないわけじゃない!」

高校生「くたびれたそこら辺のおっさんだと思った?」

会社員「そうよ! 犯人がこんな幼い子なんて、誰が想像つくの!」

高校生「うっさいなあ、キンキン騒がないでよ」

会社員「…ねえ、どうしてこんな事をしたの」

高校生「ん〜」

高校生、会社員の財布の中身を見る

高校生「え、一円も入っていないじゃん」

会社員「理由があるんでしょう、何か話してちょうだい！」

高校生「はあ…今はキャッシュレス派が多いからな」

高校生、一枚の名刺を見つける

高校生「…なにこれ…名刺？ 一般社団法人つなぎあわせ代表理事…朝霧遥^{あさぎりはるか}」

会社員「私はね、あなたみたいな生きづらさを抱える女の子たちを保護する活動を行ってるの！ あなたも何かあるんだよね？

今からでもきつと遅くないわ」

高校生「…あのさ、おばさんって昔、違うところで働いてた？」

会社員「…？ 独立する前はずっと、品川の児童相談所で働いていたわよ…？」

高校生「…相川かれん^{あいかわ}って名前、聞いたことない？」

会社員「相川かれん…まさか！」

会社員、高校生に指を指す

会社員「…かれんちゃん？」

高校生「もう、苗字は変わったけどね」

会社員「うそ、どうして…」

高校生「あたし、最低だよな。こんなにお世話になった人を殺そうとして…」

会社員「ふっふっ…あはははは！」

高校生「朝霧さん…」

会社員「私ね、ずうっと思ってたの。大学卒業して、就職して。一番勤めたかった部署に配属されて、独立した。このキャリアに 2 傷は一つもないってね。」

高校生「…」

会社員「でも、あなたを救えていなかった。一番最初から、私は何もやり遂げていなかった」

高校生「私！ 私、今はこんなだけど、あの時は本当に…本当に、朝霧さんに助けられて…！」

会社員「殺してよ、私のこと」

高校生「嫌だ…」

会社員「ここで、私が生きる意味なんてもうないわ」

高校生「嫌だ…嫌だ嫌だ嫌だ」

会社員「だから…早く、早く殺してちょうだい！ 早く！」

高校生「嫌だ！」

会社員「殺して！」

(幕)

【登場人物】

朝霧 遥 ……会社員。一般社団法人つなぎあわせ代表理事。

相川かれん……高校生。五反田殺傷事件の犯人。